

【フランス】仏ラ・ポスト、出口戦略を発表

フランスでは5月11日にロックダウンが緩和されたが、それに合わせてフランスの郵便事業体ラ・ポストも5月5日、制限解除後の出口戦略を発表した。

週4日に削減していた配達日数を、5月11日から、小包・新聞・地域サービスの配布・書留書状は週6日配達に戻し、一般書状についても徐々に土曜配達を復活させて週6日配達とする。その他の広告郵便等も週5日配達に戻す。

郵便ポストからの取集も、現在87%程度を、能力に合わせながら5月末までに100%にする。

また、ラ・ポストでは、自主隔離を余儀なくされている立場の人に対し、自宅ポストに立ち寄り依頼を明示して、自宅から郵便物を差出すことのできるサービスを開始した。切手をラ・ポストのサイトから印刷するか、郵便配達員へ直接支払うが、その他の手数料はかからない。

さらに、ラ・ポストは、自宅ポストから書留書状の差出を可能にするサービスを新たに提供している。切手はラ・ポストのサイトから印刷する。

ラ・ポストの郵便局は、あらゆる保護措置を厳格に施した上で、5月末までに、全7,700局とほぼすべての郵便取次所(9,000ヶ所以上)を再開させる予定である(営業時間については個々の状況による)。

従業員のテレワークは6月2日まで継続され、その後、保護環境対策や時差出勤等によって健康保護対策がとられ、通常の仕事のペースに復帰していくことになる。